

ときめき人

Tokimeki bito



夢を原動力に 未来へ羽ばたく 期待の星

南方町・北本郷

佐々木 結都さん

ささき ゆいと
2012年生まれ

Profile

ポジションは右サイドバック。練習以外の日にもサッカー関連の動画やゲームを楽しみながら、サッカー漬けの日々を過ごす。昨年末はチームでベトナムへ遠征し、海外チームと戦う貴重な経験を積んだ。



キック力と精度の高さを武器に、グラウンド上を躍動する

「将来はプロのサッカー選手になって、満員のユアスタでゴールを決めることが目標です」。目を輝かせながらそう話すのは、ベガルタ仙台の中学生向けアカデミー「ベガルタ仙台ジュニアユース」に所属する佐々木さんだ。

サッカーを始めたのは小学3年生の時。友人に誘われて参加したスポ少の体験会でプレーを褒められ、そこからどんどんサッカーの魅力にのめり込んでいった。サッカーのスポーツ推薦で進学した7つ年上の兄、琉嘉さんの影響もあり、4年生になると石巻市のジュニアチームに所属。より本格的な環境でサッカーに打ち込むようになった。

経験を重ねる中で、「プロになりたい」という思いが次第に高まり、中学校進学タイミングで

ジュニアユースへの挑戦を決意。セレクションに向けて、苦手としていた足元の技術や1対1の対応力向上に取り組み、夏休みには帰省中の兄に練習を見てもらいながらフォームの改善に努めた。迎えたセレクション当日、県内外から150人を超えるライバルが集結。これまでの努力を信じ、自分らしいプレーを貫いた結果、1次、2次、3次審査を全て通過し、狭き門をくぐり抜けて見事合格を勝ち取った。「とにかくうれしくて『これからガンガンプレーしていくぞ』と燃えました」と、その瞬間を振り返り、白い歯を見せる。

スタメンでの出場機会も増え、「自分自身、成長を実感している」と話す。より一層輝きを増す期待の星は、これからも夢に向かって突き進んでいく。

編集後記

▼二十歳の集い。華やかな晴れ着に身を包み友人との再会に声を上げて喜び合う姿、そして、同じように久々の再会に盛り上がる保護者の様子を見て、こちらまでうれしくなりました。まぶしい笑顔と希望に満ちあふれた姿を取材して私も元気をもらいました。(森田)

▼私は、嫌いなものを聞かれたら迷いなく「寒波」と答えます。1月の長期寒波真っ只中の日に取材に出かけ、信号待ちしていたら、半袖半ズボンの少年と遭遇。「えっ!？」と驚いて見ていたら、私に気付いて笑顔で会釈してくれました。寒波に震える私の心をほっこり温めてくれました。(高橋)

▼私事ですが、2月1日に第一子となる女の子が誕生しました。想像できないほどの痛みに耐えた勇敢な妻と、必死に産まれてきてくれたわが子に感謝し、これから新米パパとして頑張ります。▽育児取得を後押ししてくれた係員の2人に感謝。約1カ月間、全力で育児に専念します!(添田)



登米市公式ホームページ
<https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、市政に関する情報などを配信)
<https://plus.sugumail.com/usr/tome/home>



登米市公式 LINE
(市政、イベント情報などを配信)
<https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam>